

新型コロナウイルスに関する情報

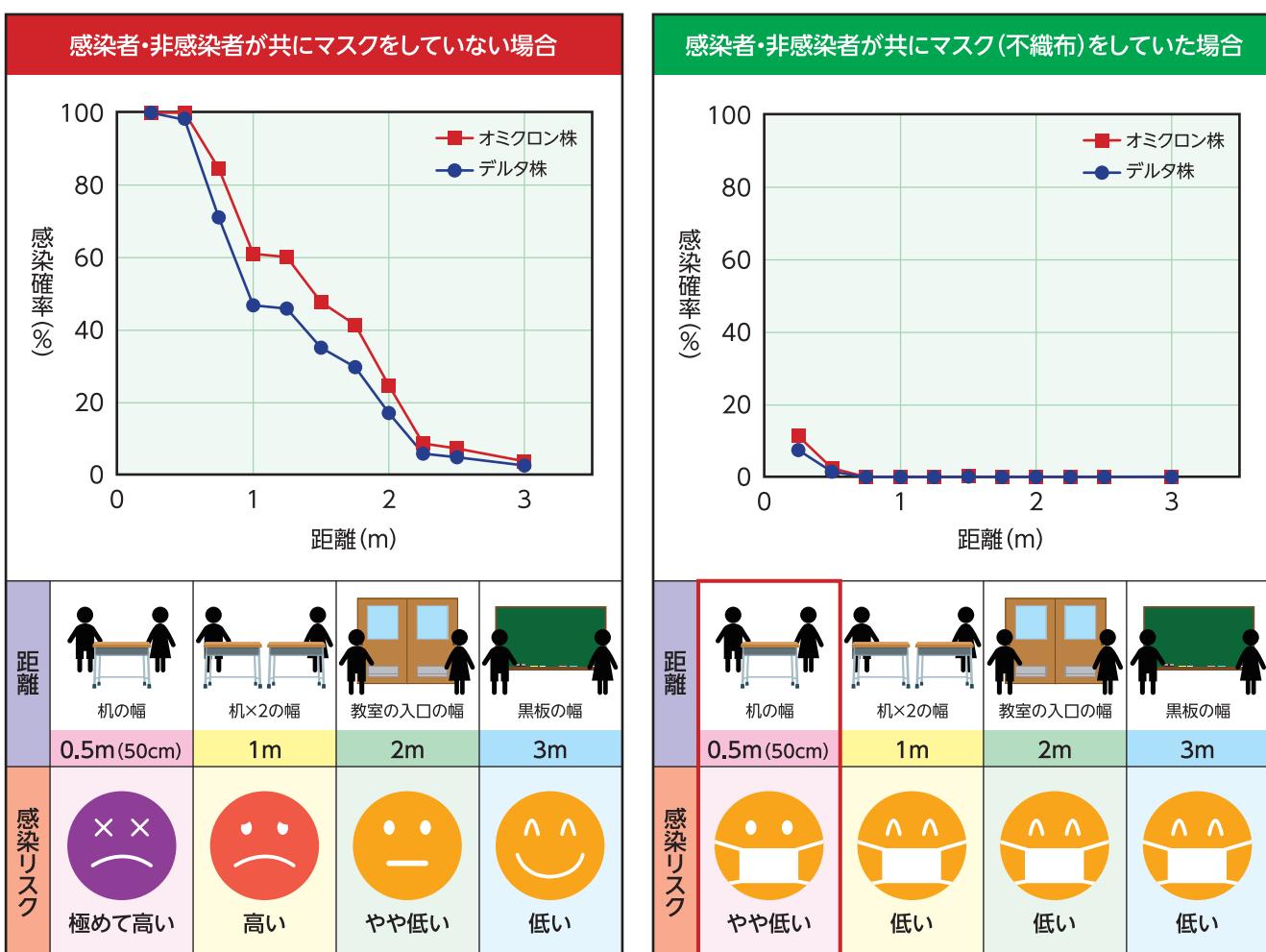
ソーシャルディスタンス

距離と感染確率の関係

まん延防止等重点措置が全ての都道府県で終了しましたが、内閣官房は、終了後も引き続き、基本的な感染対策の徹底と、感染リスクを減らすことを促しています。2022年2月には、理化学研究所のスーパーコンピューター「富岳」を使った研究で、感染者がマスクをした状態であっても、50cm以内に近づいて会話をすると感染リスクが高まることがわかりました。そこで、今回は理化学研究所が発表した〈距離と感染確率の関係〉をご紹介いたします。

■ 感染者と対面したときの距離と感染確率の関係

実験条件：屋内・無風状態で15分間会話



■まとめ

マスクの着用、こまめな手洗い、3密の回避など、感染拡大防止に向けた基本的な取り組みを徹底するとともに、15分を超えて隣同士でしゃべるような場面では、マスクをしていても安心せずに、距離を取る、常に換気を行う、接触時間を短くする等の対策が大事だとしています。

■情報提供：理化学研究所・神戸大学

■協力：豊橋技術科学大学、大王製紙株式会社、京都工芸繊維大学、東京工業大学、九州大学